



はなさと だより

第 122 号 27・3・1
TEL 35-5500

はなさと節分祭

毎年二月三日は、全国各地で節分祭が行われます。はなさとでも恒例の節分祭は、二月四日に行われました。

各フロアの利用者さんが、今か今かとワクワクしながら、鬼と福の神が来るのを待っていました。

赤・青・緑の鬼が現われると、「鬼は外」「福は内」と鬼に向かって力いっぱい、紅白の球を投げつけました。



スタッフ、利用者さん共に、盛り上がり、大いにストレス発散になったのではないのでしょうか。



大雪での被害

昨年十二月の記録的な大雪は、飛騨地方に大きな被害を与えました。

はなさとでは、裏庭にある藤棚が倒壊するという被害が出ました。

藤棚の大部分に積雪がみられ、耐えきれなくなり鉄棒が見事に折れてしまいました。

昨年の秋、利用者の皆様と散歩に行った時には、藤棚からたくさんのさやがぶら下がっている姿を見ました。



これが藤の花の種だということを教えて頂いた日を思い出しました。藤の花言葉は「あなたを歓迎します」「陶醉する恋」だそうです。

早く雪が解けて、藤棚を修復し、春を迎えさせてあげたいと思います。

インフルエンザから

身を守ろう

インフルエンザの流行のピークは一月～三月頃、まだ油断はできません。

インフルエンザウイルスの主な

感染経路は、咳やくしゃみによる

飛沫感染と飛沫により汚染された

手指でドアノブ・手すりなど、

公共物を介した接触感染です。



予防として

- ・ 他者への感染を防ぐ、自分の身を守るためマスクを着用する。
- ・ 手指に付着したウイルスを除去するため、流水と石けんを使用してしっかりと手洗いをする。
- ・ アルコール性手指消毒薬の使用も有効。
- ・ こまめに換気する。湿度は50～60%。
- ・ インフルエンザ患者との接触を避ける。

一般の風邪と比べると「強い」「急激な」症状が現われるのが特徴で、重症化すると肺炎や脳炎を引き起こす事があります。皆さん、予防を心がけましょう。

バレンタインデー

二月十四日のおやつは、ハート型のチョコレートプリンでした。



男性利用者さんはニコニコ、女性利用者さんも「女の私がもらっているの?」と言って、皆さんうれしそうに召し上がって見えました。

三月の行事予定

- ◎ はなさとボランティア総会 六日(金)
- ◎ 布切ボランティア 六日(金) 二十日(金)
- ◎ 傾聴ボランティア 十八日(水)

